

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 5 部門第 2 区分
【発行日】平成 17 年 9 月 8 日 (2005.9.8)

【公開番号】特開 2000-2247 (P2000-2247A)
【公開日】平成 12 年 1 月 7 日 (2000.1.7)
【出願番号】特願 平 10-166799
【国際特許分類第 7 版】
F 1 6 C 33/46
【F I】
F 1 6 C 33/46

【手続補正書】
【提出日】平成 17 年 3 月 11 日 (2005.3.11)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 3
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 2 3】

即ち、上記舌片素片 19 の容積を舌片 13 a の容積に比べて過剰にしている為、得られた舌片 13 a に欠肉が発生する事がない。又、過剰容積分はバリ 22 として舌片 13 a の本体部分を加工する為の舌片加工用空間部 25 外に連続する逃げ空間 26 に逃がす為、上記舌片素片 19 の大部分で、上記舌片加工用空間部 25 内に留まった部分は、この舌片加工用空間部 25 を構成する 1 対の金型 23 a、23 b 同士の間で正規に押圧される。この結果、上記舌片 13 a の形状が不正規になったり、或は塑性加工後のスプリングバックの量が多くなる事を防止できる。尚、上記バリ 22 は、上記ポケット 10 と反対側に突出する為、このバリ 22 が球面ころ 3 の一部と干渉する等して、自動調心ころ軸受の機能を損なう事はない。